

平成 25 年台風 18 号による被害状況等について 【土木交通部関連】

●被害の状況等●

□ 土砂災害

- ◆土砂災害発生件数 22 件（土石流等 9 件、地すべり 1 件、がけ崩れ 12 件）
- ◆大津市北小松の滝川で土石流が発生し、二基のえん堤で捕捉し下流人家の土砂流出を軽減した。応急対策にて橋梁部の流木や土砂を撤去。今後の対策については国等関係機関と協議中。河川内の流木や土砂を撤去中。
- ◆栗東市安養寺においてがけ崩れが発生。恒久的ながけ崩れ対策は治山事業で対応。応急対策は砂防で対応することとし、17 日から 20 日にかけて土砂災害の専門家により現地を調査。
市道の土砂撤去、土のう積み完了。観光道路の土砂撤去完了、土のう積み完了。
自動伸縮計 2 基、簡易型伸縮計 6 基設置。9/26 18:00 避難勧告解除。
- ◆大津市国分二丁目においてがけ崩れが発生し、三田川を閉塞。三田川の氾濫水が人家に流れ込まないように大型土のうを設置。今後の対策については国等関係機関と協議中。

□ 河川等

- ◆避難判断水位設定の水位観測所 31 箇所のうち、19 箇所避難判断水位を超過。

・大戸川、草津川、野洲川、杣川、日野川、愛知川、宇曾川、犬上川、芹川、天野川、姉川、余呉川、安曇川

◆決壊

- ・鴨川（高島市）→決壊箇所の応急対策完了（24 日）
- ・金勝（こんぜ）川（栗東市）→ 決壊箇所の応急対策完了（23 日）

◆堤防・護岸の損壊や溢水 約 190 箇所を確認

・大戸川、野洲川、日野川、愛知川、犬上川、芹川、天野川、姉川、安曇川 ほか

◆琵琶湖の水位

- ・9 月 16 日 19 時に氾濫注意水位である BSL+70cm に達し、17 日 8 時に BSL+77cm に到達した。
- ・9 月 16 日午前 2 時 30 分に、41 年ぶりとなる瀬田川洗堰の全閉操作を実施。全閉操作により、淀川の流域面積約 8,240 km²のうち、琵琶湖流域約 3,848 km²（淀川流域の約 47%）からの洪水を、ほぼ全て琵琶湖に貯留したことになり、下流の被害軽減に寄与した。

□ 道路

◆最も通行規制が多くあった時点（9月16日昼頃）の県管理道路の状況

- ・雨量超過による通行止め 29 路線
- ・路面冠水 15 路線
- ・法面崩落、土砂流出等 15 路線 計 59 路線

◆県道等の状況（10月1日時点）

- ・名神高速道路(八日市～彦根)上り通行止め → 21日午前8時50分通行止め解除
- ・県管理道路における通行止め：15 路線
(内訳) 国道：2 路線
県道：13 路線

□ 公共交通機関

◆JR琵琶湖線（京都～米原間 9月16日21時まで運休）

- ・16日21時から一部運行、19日から全面運行
- ・大津～膳所（大津市石場）付近で法面崩壊、住宅への土砂流出→JR西日本により19日未明に修復

◆京阪電鉄京津線（全区間（御陵～浜大津）9月29日17時まで運休）

- ・29日17時から運行再開、30日から全面運行
- ・大谷駅～上栄町駅間【土砂流入(上下線約200m区間)】復旧作業完了
- ・追分駅～大谷駅間【土砂流入(上下線約100m区間)】復旧作業完了

◆信楽高原鐵道（全区間運休中）

- ・杣川橋りょうの流失→国へ報告のうえ情報取集中
甲賀市の依頼により16日に業者が現場確認
- ・土砂流入箇所多数→甲賀市および信楽高原鐵道により調査中
- ・17日からバス代行輸送を実施中（貴生川～信楽）

◆バス（道路通行止めに伴う運休）

- ・江若交通 鴨西線全線運休
- ・湖国バス 日野町営バス平子西明寺線熊野～熊野神社間運休

□ 対応状況

- ◆通行を確保するための土砂の撤去や大型土のう等による仮堤防の設置などについては、建設業協会への応援要請に基づく対応や道路維持修繕工事での契約業者により対応
- ◆土木交通部本庁所属の土木技術職員を9月21日から7名、10月1日からは14名管内被害の著しい土木事務所に派遣し、災害復旧業務に係る応援対応を行っている。
- ◆公共土木施設災害復旧事業のうち、現時点で確認した道路・河川・砂防・公園、下水道の県・市町合計として約310箇所、復旧費約55億円。11月中旬に国の災害査定を受けた後、本格的な復旧事業を行う予定。

●関係機関の活動状況等●

□ 国土交通省

◆災害対策現地情報連絡員（リエゾン）の派遣

- ・国と県で、県内の道路などの公共土木施設の被害情報などについて情報共有。（滋賀国道事務所より道路課へ1名派遣）

◆緊急災害対策派遣隊（TEG-FORCE（テックフォース））の派遣

- ・金勝川の決壊被害について調査（3名派遣）
- ・高島市の災害復旧支援（4名×4班）

◆その他

- ・国土技術政策総合研究所、土木研究所による土砂災害対応支援
栗東市安養寺
- ・道路防災アドバイザーによる土砂災害対応支援
栗東市安養寺、下戸山
- ・上記調査に基づき近畿地方整備局が伸縮計を設置
自動伸縮計（3台）、簡易伸縮計（6台）を設置

●支援の状況等●

□ 県による支援状況

◆県営住宅の無償提供

- ・一時避難先を提供するため、9月21日から県営住宅の無償提供を行っている。

□ 企業等による支援状況

◆一般社団法人滋賀県建設業協会

- ・災害時における応急救援活動への応援に関する協定書に基づき、応援要請を行い、県内各地において、建設業協会会員における応急復旧作業が行われている。（平成8年3月に協定締結後、初の適用事案）
 - 南部土木事務所管内：大型土のうの設置（金勝川右岸堤防）
 - 甲賀土木事務所管内：大型土のうの設置、流出土砂撤去・欠損路肩の復旧
 - 東近江土木事務所管内：日野川堤防の応急復旧工事、国道421号流出土砂撤去・欠損路肩の復旧
 - 湖東土木事務所管内：国道306号陥没箇所の応急復旧

他